

トッリーダーセミナー
「地域に生き世界に伸びる大阪大学の挑戦」

NEW!

■講師

小川 哲生（大阪大学理事・副学長、理学研究科教授）

1962 年 1 月生まれ。東京大学工学部物理工学科卒業。工学博士（東京大学）。東京大学助手、NTT 基礎研究所研究員、大阪市立大学助教授、東北大学助教授を経て、2000 年より大阪大学教授。2015 年より現職。専門は、多数の原子や電子などが集まっている状態の性質を、量子力学と統計力学に基づいて理論的に解明する物性理論物理学。大学理事・副学長としては財務・情報推進を担当し、国立大学法人の前向きな改革に悪戦苦闘中。

■プログラム概要

「大阪大学の改革について」という表題でお話しします。

- （１）国立大学法人と社会との関係の変化
- （２）大阪大学の独特の出自と当時の必要性
- （３）大阪大学の規模と現在の特徴
- （４）大阪大学ならではの課題と解決策
- （５）国立大学法人全体の課題、大阪大学の課題、他の個々の大学の課題との共通性と特殊性
- （６）日本の知識集約社会を国立大学法人がいかに担うか？（公立大学や私立大学との役割分担は？）
- （７）費用、人材、環境、情報の「好循環」の問題：日本における産学官連携の在り方

■主な受講対象

単なる「大阪大学の紹介」ではなく、全国 86 の国立大学法人が、日本や世界を良くするためにどのような立場でどのような役割を担っていくべきか、このような関心を持つ方にお聴きいただき、大阪大学の改革例を「反面教師」としてとらえながら、ご自分の大学の改革に活かしていただきたいです。

■本プログラムの到達目標

- 1. 国立大学法人の置かれている社会的立場が理解できる。
- 2. 大阪大学特有の長所と短所を理解し、ご自分の大学改革の参考にできる。
- 3. 今後の国立大学法人の在り方や存在意義について各自の意見を持てるようになる。

■日時・場所

日時：令和元年 8 月 29 日（木）13：00～15：00

場所：愛媛大学城北キャンパス